

平成 30 年度江戸川区 文化財保護指導員（埋蔵文化財）、 文化財調査員 非常勤職員の募集について

江戸川区教育委員会事務局教育推進課では、文化財保護指導員、文化財調査員(非常勤職員)を下記のとおり募集しますので、お知らせします。

記

この公募は、平成 30 年度の予算成立を前提に実施しています。そのため、予算成立の状況によっては、公募の中止や、採用の取り止めをする場合もありますので、予めご承知おきください。

なお、平成 30 年度予算は、平成 30 年 3 月の第 1 回区議会定例会での議決を経て決定する予定です。

募 集 部 署 江戸川区教育委員会事務局教育推進課文化財係

区分・職名 非常勤職員・文化財保護指導員、文化財調査員

職 務 内 容 文化財保護指導員

主として埋蔵文化財の保護に関すること。その他文化財保護業務に関すること。

(埋蔵文化財行政に関する事務や窓口対応、発掘調査、調査の調整など)

文化財調査員

文化財の保護と普及に関する業務、文化財の現況調査、江戸川区文化財行政に関わる事全般。

勤 務 場 所 教育推進課文化財係 TEL03-5662-7176(直通)

〒132-0031 江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3 階

募集人員・応募資格

それぞれ若干名

文化財保護指導員・・・次の①～③を満たす方

① 学校教育法に基づく大学または大学院で考古学を専攻。

② 発掘調査の十分な経験を有すること

③ 博物館学芸員資格・普通自動車運転免許証を有し、日常的に車を運転していること。

文化財調査員・・・次の①・②を満たす方

① 学校教育法に基づく大学または大学院で日本史、民俗学を専攻。

② 博物館学芸員資格・普通自動車運転免許証を有し、日常的に車を運転していること。

任 用 期 間 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

(平成 31 年度以降の任用については、予算成立を前提に勤務状況や就労意欲等を考慮して更新する場合があります。)

勤務日数・時間・休日

勤務日数: 4 週間を 1 サイクルとするローテーション勤務

勤務時間: 8:45～17:15(休憩 12:00～13:00)週 30 時間勤務

休 日: 江戸川区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例第 10 条の規定に掲げる休日

休日が週休日にあたる場合の取扱いとは所屬長が定める。

処 遇 月額:204,500 円 (平成 30 年度予定額)
通勤費は、月額上限 30,000 円の範囲内で支給します。
健康保険、厚生年金、雇用保険に加入。
年休は、初年度に年間で最大 12 日間付与。その他特別有給休暇等あり。

応募方法 提出書類: 履歴書(写真貼付)
提出方法: 下記「書類送付先」まで郵送または持参
※提出していただいた応募書類は返却できませんので、予めご了承下さい。
書類は、江戸川区個人情報保護条例に則り厳重に管理し、採用審査の用途の限り使用されます。また、これらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

募集締切 平成 30 年 2 月 16 日(金)(必着)

選考方法 書類選考の上、通過者に面接を実施して決定します。

書類送付先・問い合わせ先

〒132-0031 江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3 階
教育推進課文化財係 TEL03-5662-7176(直通) 担当:小島

平成30年4月採用

公益財団法人

京都市埋蔵文化財研究所

職員採用選考試験

実施要項（技術職員）

1 採用予定人員・勤務先・受験資格等

募集職種及び 採用予定人数	調査員（雇用期間付職員） 若干名
雇用期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日 ただし、 ・勤務成績が優秀で、かつ、理事長が特に認めた場合は、通算3年を限度として更新することができます。 ・採用後に行う内部登用選考に合格した場合は、正規職員（無期雇用職員）に転換することができます。
勤務先	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所事務所及び市内各調査対象地等の事務所
職務内容	京都市内における埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業の指導並びに調査報告の作成業務のほか、普及業務等を担当します。
受験資格	【次の各号のいずれかに該当する方】 (1) 学校教育法に基づく大学（大学院を含み、短期大学を除く。）において、歴史学、考古学、その他これらに類する学科等の課程を卒業（修了）した方又は平成30年3月末までに卒業（修了）する見込みの方 (2) 上記(1)と同等以上の学力を有する方 (3) 国、地方公共団体、公益法人、大学、その他の調査研究機関において、埋蔵文化財の発掘調査の経験を有する方 【年齢要件】 昭和33年（1958年）4月2日以降に生まれた方

※ ただし、次の各号のいずれかに該当する方は除きます。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (3) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法及びその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又は加入した者

2 採用予定日

平成30年4月1日

3 選考試験

次の方法により行います。

(1) 第1次選考（書類選考）

提出された関係書類により選考のうえ、平成30年2月22日（木）に、応募者全員に結果を通知します。

(2) 第2次選考（適性検査、筆記試験、実技試験、口述試験（面接））

選考日時	平成30年3月4日（日）午前9時30分から （午前9時20分からガイダンスを行います。）		
選考方法	適性検査 （60分）	当研究所の職員として必要な適性を検査します。	
	筆記試験 （60分）	当研究所の職員として必要な専門知識、能力等について試験を行います。　＜出題分野＞歴史学、考古学等	
	実技試験 （60分）	当研究所の職員として必要な技術等について実技試験（遺物実測）を行います。	
	口述試験	主として、人物、能力、経験などについて個別面接を行います。	
選考会場	（公財）京都市埋蔵文化財研究所 伏見事務所 （京都市伏見区深草泓ノ壺町14-4）		
合格発表	平成30年3月9日（金）までに第2次選考受験者全員に結果を通知します。		

※詳細は、第1次選考の結果通知書でお知らせします。

4 給 与

初任給は、大卒者が209,660円程度、修士課程修了者が220,990円程度です。

（上記の給与額は、平成30年4月見込み額）

なお、職歴がある場合などは、一定の基準により加算されます。

その他、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が要件に応じて支給されます。

5 応募手続及び申込受付期間

申 込 先	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 管理課 所在地 〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1 電 話 (075) 415-0521
申 込 書 請求方法	(1) 当研究所のホームページからダウンロードする。 ホームページアドレス http://www.kyoto-arc.or.jp (2) 上記申込先に直接取りに来る。 (3) 郵送で請求する。この場合は、封筒の表に「職員採用選考試験申込用紙 請求」と朱書のうえ、あて先を明記し、82円切手を貼った返信用封筒（定 形長形3号（12×23.5cm程度）を同封してください。
申込方法	申込書に必要事項を記入し、本人の写真（申込書の注意を厳守のこと。）を 貼り、次の書類各1部を添えて提出してください。 申込書を郵送する場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「受験書類在中」 と朱書してください。なお、申込時の書類は、一切返却いたしません。 (1) 最終学校卒業（見込）証明書 大学院修了（見込）の場合は、大学の卒業証明書及び大学院の修了（見 込）証明書を添付してください。 (2) 最終学校成績証明書（全学年記入のもの） 大学院修了（見込）の場合は、大学及び大学院の成績証明書を添付して ください。 (3) 歴史学、考古学等に関する論文（報告）要旨又は卒業・修士論文要旨 （様式自由 A4判 横書 800字程度）
受付期間	平成30年1月19日（金）から 平成30年2月16日（金）午後5時まで。 持参の場合は、午前9時から午後5時まで（管理課へ）土・日曜日、祝日 は不可。 郵送の場合は、平成30年2月16日（金）までに必着のこと。

6 応募についての問合せ先

公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 管理課

電話 (075) 415-0521

住所 〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1

平成30年4月採用 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 No 1
職員採用選考試験申込書

受付月日	※ 月 日	No	
------	-------	----	--

私は、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所職員採用選考試験を受験したいので申し込みます。

写真貼付欄

写真は、申込前6箇月以内に撮影したもので、脱帽・上半身・正面向き、4×3cm の、本人と確認できるものを貼ってください。

写真の裏には必ず氏名を記入してください。

なお、私は、この試験に必要な受験資格をすべて満たしています。
また、この申込書すべての記載事項に相違ありません。

平成 年 月 日

本人署名

㊞

フリガナ		生年月日	昭和・平成 年 月 日	性 別
氏 名		年 齢	平成30年4月1日現在 (歳)	男・女
現住所（寮・下宿・アパート等の場合は、何々方まで詳しく記入してください。） （〒 - ） 電話（ ）・携帯電話（ ） Eメールアドレス（ ）				
連絡先（現住所の他に連絡を希望されるなどの場合に記入してください。） （〒 - ） 電話（ ）				
	学校名（学部学科）	在 学 期 間	中退・卒業・ 修了・在学中	専攻分野
学 歴	最 終	年 月～ 年 月		
	その前	年 月～ 年 月		
	その前	年 月～ 年 月		
	その前	年 月～ 年 月		
職 歴	勤務先名（部課名）	在 職 期 間	職名及び勤務内容	
資格・免許				

※印の欄以外は、すべて記入してください。

職員採用選考試験申込書

調査歴・報告書執筆歴・論文等執筆歴

※卒業論文，修士論文については必ず記入してください。

フリガナ	
氏名	

主 な 発 掘 調 査 歴	遺跡名（所在地）		調査従事期間	調査機関名	調査時の業務内容
報 告 書 等 執 筆 歴	発行年月日		報告書名	執筆内容 〔分担執筆の場合は、 分担執筆の箇所〕	発行機関
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
論 文 等 執 筆 歴	発行年月日		論文等の名称	執筆内容	提出先 又は 掲載誌名
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			
	昭和 平成	年 月 日			

※書ききれない場合は，この用紙をコピーして記入してください。

公 募

二松學舎大学 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究員の募集

二松學舎大学は、平成27年度、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の「知」の形成と漢学」に採択されました。それに伴い、近代日本漢学及びそれに関連するテーマでの研究を推進するため、研究員を募集いたします。

記

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 募集人員 | 若干名 |
| 2 | 条 件 | 博士の学位を取得し、日本漢学及びそれに関連する研究テーマを持つ者 |
| 3 | 勤務形態 | 常勤（週3～4日程度東アジア学術総合研究所に勤務） |
| 4 | 勤務時間 | 9：00～16：30 |
| 5 | 勤務内容 | ・当該事業の研究に従事
・当該事業で実施する研究会等への参加
・自己のテーマに沿った研究（毎年の研究成果報告）
・研究助手の指導 等 |
| 6 | 任 期 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 |
| 7 | 待 遇 | 給与月額20万円 ＋ 通勤費（実費） |
| 8 | 提出書類 | ①履歴書
②教育研究業績書（代表的な論文等1部を添付）
③研究計画書
※ 二松學舎大学および東アジア学術総合研究所のホームページからダウンロード可
※ 提出された書類等は、返却しません。 |
| 9 | 公募締切 | 平成30年2月19日（月） 必着 |

書類の送付先及びお問い合わせ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14
二松學舎大学 東アジア学術総合研究所
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業事務局
TEL 03-3261-3535
E-mail kiban@nishogakusha-u.ac.jp

平成30年1月19日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長

久保田 啓一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属） 広島大学学術院（大学院文学研究科 日本・中国文学語学講座）
2. 職名・人員 准教授または講師 1名
3. 採用予定年月日 平成30年10月1日
4. 専門分野 日本語学
5. 担当科目 教養教育科目：「文学・語学の世界」「教養ゼミ」等
学部（専門教育科目）：「日本文学語学入門」「日本語学概説」「日本語学研究法」「日本語学演習」「日本語学特別演習」等
大学院：「日本語学研究」「特別研究指導」「日中言語文化交流論」等
※この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学事業も担当することがあります。
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
(1)博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）
または博士の学位と同等の学力を有し、著書（単著）1冊以上または論文10編（うちレフェリー付き論文3編以上を含む）以上の研究業績を有すること。
(2)日本語で教育・研究指導および学内業務ができること。
(3)日本語学全般（古典語を含む）に関する教育・研究指導ができること。
※大学院における論文指導経験を有することが望ましい。
7. 応募書類 (1)履歴書（市販用紙を使用，写真貼付）
①学歴・職歴・所属学会・住所・メールアドレス等を明記すること。
②過去5年間に広島大学で雇用（TA，RA，研究員等を含む）されたことがある場合は，漏らさず記載すること。
(2)研究業績一覧

- ①著書・論文・その他（書評・翻訳・学会発表・招待講演等）を区分して各研究業績に番号を付け、一覧形式で記載すること。
- ②審査付論文の番号にはアンダーラインを付けること。
- ③主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。
- ④学会発表に関しては、発表題目・学会等名・発表年・学会開催地を明記すること。
- (3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー、著書）とそれぞれの概要（400字程度）
- (4) 教育上の主要な業績
- (5) 社会貢献に関わる主要な業績
- (6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績
- (7) 最近5年間における外部資金の獲得状況（代表、分担別）
- (8) 着任後の研究・教育に対する抱負と計画（2,000～3,000字）
- *上記(1)～(8)の応募書類は日本語で作成し、紙媒体と電子ファイル（Word ファイルまたは PDF ファイル、CD-ROM または USB メモリに保存）の両方を提出すること。ただし、研究業績の現物については、この限りでない。

8. 応募期限 平成30年4月2日（月）17:00（日本標準時）（必着）
9. 応募書類送付先 〒739-8522 広島県東広島市鏡山1-2-3
 広島大学大学院文学研究科長 久保田 啓一
 ※封筒の表に「大学院文学研究科日本・中国文学語学講座教員応募書類在中」と朱書し、書留郵便で送付してください。
10. 選考方法 (1) 書類審査
 (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、模擬授業を行うことがあります。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
 (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
11. 勤務形態 (1) 勤務時間 8:30～17:15（月～金）、休憩時間 12:00～13:00
 専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分、1週間38時間45分働いたものとみなされます。
 (2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
 (3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。
12. 給与等 (1) 採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。
 （広島大学職員給与規則、広島大学年俸制職員給与規則適用）
 (2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。

【月給制適用の場合】

国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。

なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。

13. 評 価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
14. 募 集 者 名 国立大学法人広島大学
15. そ の 他 (1) 試用期間：あり（6月間）
（広島大学職員就業規則）
(2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
(3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
16. 問い合わせ先 広島大学大学院文学研究科 日本・中国文学語学講座 妹尾 好信
TEL:082-424-6668 FAX:082-424-0315
E-mail:yseno@hiroshima-u.ac.jp

Date: January 19, 2018

Graduate School Position in the Department of Japanese and Chinese Languages and Literatures

Applicants are invited from suitably qualified candidates for a tenured teaching position in the department. Details relating to the position, method of application, and required documents are given below:

1. Affiliation (Appointment): Academy of Hiroshima University (Department of Japanese and Chinese Languages and Literatures, Graduate School of Letters)
 2. Position and the number of openings: Associate Professor or Lecturer, one (1)
 3. Commencing date of employment: October 1, 2018
 4. Field of specialization: Japanese Language and Linguistics
 5. Teaching responsibilities
 - Undergraduate level (general education courses): World of Language and Literature, Introductory Seminar for First-Year Students, etc.
 - Undergraduate level (discipline specific courses): Introduction to Japanese Language and Literature, Outline of Japanese Language and Linguistics, Survey of Japanese Linguistics, Seminar on Japanese Linguistics, Special Seminar on Japanese Linguistics, etc.
 - Graduate level: Research on Japanese Linguistics, Special Research Tutorial, Linguistic and Cultural Communication between Japan and China, etc.
- * In addition to the courses listed above, he or she may be asked to teach other general education courses and/or discipline specific courses in other department(s) and graduate school(s).

6. Qualifications

Applicants must satisfy all of the following requirements:

- (1) A doctorate degree or an equivalent academic ability is required as well as at least one academic publication (sole author) or at least 10 research papers (including three refereed papers or more) by the time the appointment begins.
- (2) Applicants who are non-native speakers of Japanese must have the level of

Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their responsibilities and administrative duties effectively.

- (3) Applicants must study and teach general Japanese Linguistics, which include classical Japanese Language.

※ It is desirable that applicants have an academic and educational experience at graduate school.

7. Application materials required

- (1) Resume (attached a recent photograph) One copy
 - 1) school career, employment career, affiliated academic society, address, e-mail address, etc. are to be given.
 - 2) If you have a history of being employed by Hiroshima University (as a TA, RA, researcher, etc.) in the past five years, be sure to state all positions you have held.
- (2) List of publications and oral presentations (Number each publication/presentation, and underline the numbers of refereed articles. Affix an asterisk (*) to the numbers of your five major publications or presentations.) In the list of oral presentations, the title of a paper, the name of a conference, and its date and place are to be specified.
- (3) Hard copies (original or offprint publications) of the five checked works with a summary (approximately 400 Japanese letters) for each of the major works are required.
- (4) Major educational activities and teaching experience
- (5) Major social contributions
- (6) Major activities in university/institutional management and administration
- (7) List of acquired external funding over the last five years
- (8) Statement of intent (Please describe your interests in teaching and research in approximately 2,000 Japanese letters, should you take this position.)

*All of the documents should be in Japanese. Applicants are requested to submit all documents in Word or PDF files on a CD-ROM or a USB memory stick, in addition to the hardcopies outlined above.

8. Application deadline: All application materials must reach us by [5:00 pm on April 2, 2018 (Japan time)].

9. Please send all application documents to the following address:

Prof. Keiichi Kubota

Dean, Hiroshima University Graduate School of Letters
1-2-3 Kagamiyama, Higashi-hiroshima 739-8522, JAPAN

- * Print in red "Application documents for faculty open position in the Department of Japanese and Chinese Language and Literatures(Japanese Language and Linguistics), Graduate School of Letters" on the envelope containing the application documents and send it by registered mail.

10. Selection procedure

- (1) Selection will be made based on all application documents submitted.
- (2) Interviews will be conducted as needed. The interview includes a mock lecture. In such cases, please note that travel expenses will be the responsibility of the applicant. Applicants who pass the initial document review will be informed of interview date, time and format.
- (3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

11. Employment status

- (1) If you are agreeable to the application of the Discretionary Labor System for Professional Work, you are deemed to work for 7 hours and 45 minutes a day and 38 hours and 45 minutes a week. If not, working hours are from 8:30 to 17:15 (from Monday to Friday) and break time is from 12:00 to 13:00.
- (2) Workdays are from Monday to Friday (excluding public holidays) in principle.
- (3) Holidays are Saturdays, Sundays and public holidays in principle.

12. Salary, etc.

- (1) The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.
(Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members will be applied.)
- (2) Successful candidates may be reimbursed for travel expenses incurred for the trip from their home or former place of work to the new place of work to assume their post in accordance with the relevant regulations of Hiroshima University. For more information, please contact us.

13. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and salary and

benefits are commensurate with performance indicators.

14. Employer: Hiroshima University

15. Miscellaneous

- (1) Probationary employment period: six (6) months
(Hiroshima University Work Regulations for Employees.)
- (2) Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.
- (3) All the faculty members of Hiroshima University belong to the "Academy", which is the single university-wide faculty organization, and each faculty as a member of the Academy of the University is appointed to educational and/or research organizations such as an individual undergraduate school, graduate school, research center and institute.

16. Contact (Japanese only)

Prof. Yoshinobu Senoo

Graduate School of Letters, Hiroshima University

1-2-3 Kagamiyama, Higashi-hiroshima, 739-8522, JAPAN

Phone: +81-82-424-6668

Fax: +81-82-424-0315

E-mail: yseno@hiroshima-u.ac.jp

愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学長 松村公嗣
(公印省略)

教員の公募について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、本学では下記の要領により教員を公募することとなりました。

つきましては、この旨関係者の皆様にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

- | | |
|-----------|--|
| 1 職 名 | 美術学部（彫刻専攻）教授 |
| 2 募集人数 | 1 名 |
| 3 担当科目 | 学部開設科目：彫刻実技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（卒業制作を含む）、彫刻特別実技Ⅰ・Ⅱ
博士前期課程開設科目：美術総合研究、美術特別研究 |
| 4 応募条件 | ・大学院修士課程修了又はこれと同等以上の能力を有する者
・主に石彫に関わる彫刻の分野に於いて優れた技能、経験、業績を有し、彫刻における基礎教育及び安全教育が出来る者
・彫刻専攻の管理運営が出来る者
・採用後、愛知県または近県に居住し通勤可能な者 |
| 5 採用予定日 | 平成 31 年 4 月 1 日 |
| 6 応募期限 | 平成 30 年 4 月 13 日（金）必着 |
| 7 提出書類 | (1) 履歴書（写真貼付・E-mail アドレス等確実に連絡が取れる方法を明記して下さい）
(2) 業績一覧（研究業績、展覧会発表を含む）
(3) 作品写真、著作、論文などの原本又はコピー（後日着払いで返却します）
(4) 自己推薦書（文末に自筆で署名して下さい）
(5) 返信用封筒（82 円切手を貼付のうえ、返信用住所氏名を記入して下さい）
※(1) 及び (2) については、様式を以下の本学ホームページからダウンロードして記入し、プリントアウトしたものを提出して下さい。 |
| 8 選考方法 | 面接を実施することがあります。（旅費等自己負担）
選考結果については、平成 30 年 7 月下旬までにご連絡いたします。 |
| 9 書類提出先 | 〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
愛知県立芸術大学芸大総務課（電話 0561-76-2492）
※封筒の表に「美術学部教員（彫刻専攻）応募書類」と朱書きの上、 <u>簡易書留（ゆうパックも可）</u> で郵送して下さい。 |
| 10 問い合わせ先 | 愛知県立芸術大学 芸大総務課 後藤（電話 0561-76-2492）
Email aigeiweb@mail.aichi-fam-u.ac.jp |
| 11 その他 | (1) 本学の定年は 65 歳です。
(2) 本公募は、本学ホームページ http://www.aichi-fam-u.ac.jp/ 、
愛知県公立大学法人ホームページ http://www.puc.aichi-pu.ac.jp/ にも掲載しています。 |